

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 08-119030

(43)Date of publication of application : 14.05.1996

---

(51)Int.Cl. B60Q 1/00  
B60Q 1/04  
B60Q 1/32

---

(21)Application number : 06-256518

(71)Applicant : NISSAN MOTOR CO LTD

(22)Date of filing : 21.10.1994

(72)Inventor : MATSUMOTO YUJI  
KISHIKAWA SHOICHI

---

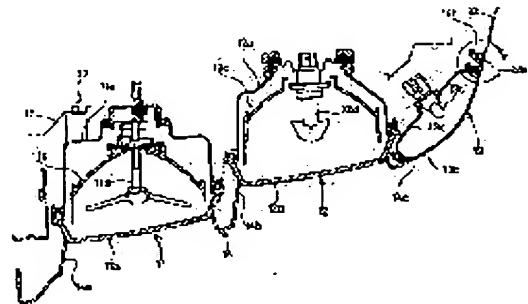
(54) LIGHTING FIXTURE FITTING PART CONSTRUCTION FOR VEHICLE

---

## (57)Abstract:

PURPOSE: To prevent generation of a gap between a front fender and a finisher.

CONSTITUTION: In the lighting fixture fitting construction for a vehicle in which a finisher 14 is fitted to head lamps 11, 12 fitted to a body, a clearance lamp 13 is fitted to the finisher 14, and the clearance lamp 13 is positioned in the vicinity of a front fender 28, an inserting slit 14f as a lock part is formed on the end part on the front fender 28 side, and an inserting piece 28a as a part to be locked with the inserting slit 14f is formed on the front fender 28.



---

LEGAL STATUS

---

[Date of request for examination] 22.09.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-119030

(43) 公開日 平成8年(1996)5月14日

(51) Int.Cl. <sup>9</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 6 0 Q	1/00	E		
	1/04			
	1/32			

B 6 0 Q 1/ 04 A

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平6-256518

(22) 出願日 平成6年(1994)10月21日

(71) 出願人 000003997

日産自動車株式会社

神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地

(72) 発明者 松本 祐次

神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地日産自動車株式会社内

(72) 発明者 岸川 祥一

神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地日産自動車株式会社内

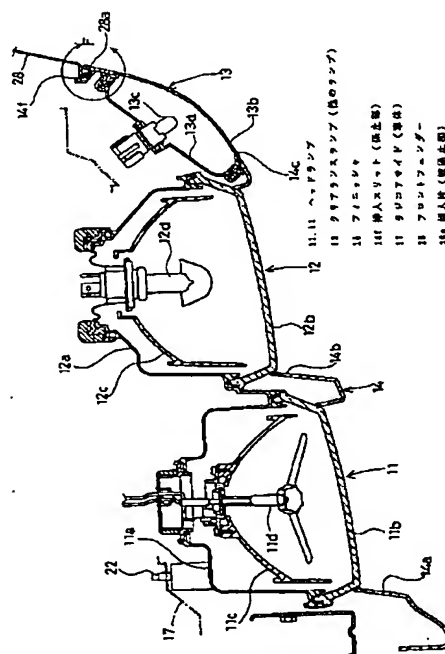
(74) 代理人 弁理士 西脇 民雄

(54) 【発明の名称】 車両用灯具取付部構造

(57) 【要約】

【目的】 フロントフェンダーとフィニッシャとの間の間隙の発生を防止する車両用灯具取付部構造を提供する。

【構成】 車体に取り付けられるヘッドランプ11、12に、フィニッシャ14が取り付けられ、該フィニッシャ14にクリアランスランプ13が取り付けられ、該クリアランスランプ13がフロントフェンダー28の近傍に位置している車両用灯具取付部構造において、前記フィニッシャ14の前記フロントフェンダー28側の端部に係止部としての挿入スリット14fを形成し、該挿入スリット14fに係止する被係止部としての挿入片28aを前記フロントフェンダー28に形成した。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 車体に取り付けられるヘッドランプに、フィニッシャが取り付けられ、該フィニッシャに他のランプが取り付けられ、該他のランプがフロントフェンダーの近傍に位置している車両用灯具取付部構造において、

前記フィニッシャの前記フロントフェンダー側の端部に係止部を形成し、該係止部に係止する被係止部を前記フロントフェンダーに形成したことを特徴とする車両用灯具取付部構造。

【請求項 2】 前記他のランプに弾性片を設け、該弾性片を前記フロントフェンダーに当接させた状態で、該弾性片の付勢力が、該他のランプをフィニッシャに押圧する方向に作用するように設定したことを特徴とする請求項 1 記載の車両用灯具取付部構造。

【請求項 3】 前記係止部と被係止部との係止により車幅方向の位置決めをし、前記弾性体とフロントフェンダーの当接により車両前後方向の位置決めをしたことを特徴とする請求項 2 記載の車両用灯具取付部構造。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、車両に設けられた灯具の取付部の構造、特に、フィニッシャが設けられた取付部の構造に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来のこの種のものとしては、例えば図 9 及び図 10 に示すようなものがある。図 9 中符号 1、2 はそれぞれヘッドランプ、3 はクリアランスランプ（車幅灯）で、これらの周囲にはフィニッシャ 4 が配設されて車体に取り付けられている。

【0003】すなわち、図 10 に示すように、ヘッドランプ 1、2 には、フィニッシャ 4 が図示していないがネジ止め等により取り付けられ、このフィニッシャ 4 にクリアランスランプ 3 が取り付けられ、そして、このヘッドランプ 1、2 が、車体のラジコアサイド 5 及びフェンダーブラケット 6 に取り付けられたヘッドランプブラケット 7 に固定されている。図中符号 8 はフロントフェンダーである。

【0004】なお、この種の類似技術としては、例えば実開昭 62-65346 号公報や日産自動車株式会社平成 5 年 6 月発行の「新型車解説書（Y32-2）NISSAN セドリック・グロリア Y32 型系車（追補版 I）」の F-4 頁に記載されたようなものがある。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、このような従来のものにおいては、フロントフェンダー 8 とフィニッシャ 4 との間には結合部がないため、両者の間に隙間 C1 が発生し易かった。

【0006】また、フィニッシャ 4 の経時的な変化により、クリアランスランプ 3 とフィニッシャ 4 との間に間

隙 C2 が発生して風切り音の発生や外観品質の悪化等の虞がある。このため、現状では、この対策として、フィニッシャ 4 とクリアランスランプ 3 との間に、バッキン 9 を入れている。

【0007】そこで、この発明の第 1 の目的は、フロントフェンダーとフィニッシャとの間の隙間の発生を防止する車両用灯具取付部構造を提供することにある。

【0008】また、第 2 の目的は、クリアランスランプとフィニッシャとの間の隙間の発生を防止することにある。

【0009】

【課題を解決するための手段】かかる課題に着目してなされたもので、請求項 1 に記載された発明は、車体に取り付けられるヘッドランプに、フィニッシャが取り付けられ、該フィニッシャに他のランプが取り付けられ、該他のランプがフロントフェンダーの近傍に位置している車両用灯具取付部構造において、前記フィニッシャの前記フロントフェンダー側の端部に係止部を形成し、該係止部に係止する被係止部を前記フロントフェンダーに形成した車両用灯具取付部構造としたことを特徴としている。

【0010】請求項 2 に記載された発明は、前記他のランプに弾性片を設け、該弾性片を前記フロントフェンダーに当接させた状態で、該弾性片の付勢力が、該他のランプをフィニッシャに押圧する方向に作用するように設定したことを特徴としている。

【0011】請求項 3 に記載された発明は、前記係止部と被係止部との係止により車幅方向の位置決めをし、前記弾性体とフロントフェンダーの当接により車両前後方向の位置決めをしたことを特徴としている。

【0012】

【作 用】請求項 1 に記載された発明によれば、フィニッシャのフロントフェンダー側の端部の係止部に、フロントフェンダーに形成された被係止部を係止することにより、両者を連結することができるため、従来のようなフィニッシャとフロントフェンダーとの間の隙間の発生を防止できる。

【0013】請求項 2 に記載された発明によれば、他のランプに設けた弾性片の付勢力で、この他のランプをフィニッシャに押圧することにより、この他のランプとフィニッシャとの隙間の発生を防止できる。

【0014】請求項 3 に記載された発明によれば、他のランプが車体の側方まで回り込んでいるような構造のものにあっては、車幅方向のみでなく、車両前後方向の位置決めも必要となるが、係止部と被係止部との係止により車幅方向の位置決めができ、弾性体とフロントフェンダーの当接により車両前後方向の位置決めができるため、フィニッシャと車体との位置関係が適切に保たれることとなる。

【0015】

【実施例】以下、この発明の実施例を図面に基づいて説明する。

【0016】図1乃至図8は、この発明の一実施例を示すものである。

【0017】まず構成を説明すると、図1中符号11、12はそれぞれヘッドランプ、13は「他のランプ」としてのクリアランスランプ（車幅灯）で、これらの周囲にはフィニッシャ14が配設されて車体に取り付けられている。

【0018】詳しくは、ヘッドランプ11、12は、図1に示すように、一体となったハウジング11a、12aにレンズ11b、12bが装着され、この内部にリフレクタ11c、12c及びバルブ11d、12dが配設されている。そして、これらヘッドランプ11、12が図3及び図4に示すように車体に取り付けられている。図3及び図4中符号16はラジコアアッパ、符号17はラジコアサイドであり、そのラジコアアッパ16に、図4に示すように、ハウジング12a上部に形成されたフック12eがボルト18、ナット19により固定され、ハウジング12aの下部12fがボルト20・ナット21によりラジコアサイド17に固定されている。また、図3に示すように、ハウジング11aの下部11eも、ラジコアサイド17にボルト22・ナット23により固定されている。

【0019】そして、これらヘッドランプ11、12に、フィニッシャ14が取り付けられている。このフィニッシャ14は、図1及び図2に示すように、ヘッドランプ11、12が臨むヘッドランプ開口14a、14b、クリアランスランプ13が臨むクリアランスランプ開口14cが形成されている。そして、図5に示すように、フィニッシャ14の上縁部14dがビス24により、ヘッドランプ11のハウジング11aに取り付けられ、下縁部14eが挟持バネ25により挟持されて取り付けられている。フィニッシャ14の他の部分も適宜、ヘッドランプ11、12に取り付けられている。

【0020】また、クリアランスランプ13は、図1に示すように、ハウジング12aにレンズ13bが取り付けられると共に、バルブ13cが取り付けられている。そして、図6に示すように、ハウジング13aに設けられた取付片13eがビス26により、フィニッシャ14に取り付けられている。図6には、取付位置を2箇所示しているが、実際は計4箇所において取り付けられている。

【0021】さらに、前記フィニッシャ14には、図1及び図7に示すように、フロントフェンダー28側の端縁部に、「係止部」としての車両前後方向に延びる挿入スリット14fが形成される一方、フロントフェンダー28には、その挿入スリット14fに挿入係止される「被係止部」としての挿入片28aが形成されている。この挿入係止状態で、車幅方向の位置決めがなされるよ

うに設定されている。

【0022】さらにまた、クリアランスランプ13の下部側には、図8に示すように、弾性片30がビス31により取り付けられ、この弾性片30の先端部30aがフロントフェンダー28に係止されている。この係止状態で、車両前後方向及び車幅方向の位置決めがなされ、又、弾性変形した弾性片30からの反力により、クリアランスランプ13が矢印F方向に付勢されて、フィニッシャ14の押圧されるように設定されている。

【0023】なお、図7中符号32はフロントフェンダー28との間をシールするシールラバーである。

【0024】かかる構造によれば、フィニッシャ14の挿入スリット14fにフロントフェンダー28の挿入片28aが挿入係止されて連結されているため、従来のように、フィニッシャ14とフロントフェンダー28との間に不用意に隙間が発生するようなことがない。従って、従来のパッキン9を廃止することも可能である。

【0025】また、弾性片30の付勢力により、クリアランスランプ13がフィニッシャ14に押し付けられているため、フィニッシャ14が経時変化したとしても、クリアランスランプ13とフィニッシャ14との間の隙間の発生を防止することができる。

【0026】さらに、クリアランスランプ13は車体のサイド側への回り込み量が大きいため、車幅方向のみでなく、車両前後方向の位置決めも必要となるが、上述のように、フィニッシャ14の挿入スリット14fとフロントフェンダー28の挿入片28aとの係止により車幅方向の位置決めが、又、弾性片30とフロントフェンダー28との係止により車両前後方向の位置決めができるため、フィニッシャ14と車体との位置関係が適切に保たれることとなる。

【0027】なお、上記実施例では、「他のランプ」としてクリアランスランプ13を適用したが、これに限らず、ターンシグナルランプ等でも良いことは勿論である。

【0028】

【発明の効果】以上説明してきたように、請求項1に記載された発明によれば、フィニッシャのフロントフェンダー側の端部の係止部に、フロントフェンダーに形成された被係止部を係止することにより、両者を連結することができるため、従来のようなフィニッシャとフロントフェンダーとの間の隙間の発生を防止できる。

【0029】請求項2に記載された発明によれば、クリアランスランプに設けた弾性片の付勢力で、このクリアランスランプをフィニッシャに押圧することにより、このクリアランスランプとフィニッシャとの隙間の発生を防止できる。

【0030】請求項3に記載された発明によれば、クリアランスランプが車体の側方まで回り込んでいるような構造のものにあっては、車幅方向のみでなく、車両前後

方向の位置決めも必要となるが、係止部と被係止部との係止により車幅方向の位置決めができ、弾性体とフロントフェンダーの当接により車両前後方向の位置決めができるため、フィニッシャと車体との位置関係を適切に保つことができる、という実用上有益な効果を発揮する。

【図面の簡単な説明】

【図 1】この発明の一実施例を示す図 2 の A-A 線に沿う断面図である。

【図 2】同一実施例を示すヘッドランプ等の正面図である。

【図 3】同一実施例を示す図 2 の B-B 線に沿う断面図である。

【図 4】同一実施例を示す図 2 の C-C 線に沿う断面図である。

【図 5】同一実施例を示す図 2 の D-D 線に沿う断面図である。

【図 6】同一実施例を示す図 2 の E-E 線に沿う断面図\*

\*である。

【図 7】同一実施例を示す図 1 の F 部拡大図である。

【図 8】同一実施例を示す図 2 の G-G 線に沿う断面図である。

【図 9】車体の一部を示す斜視図である。

【図 10】従来例を示す水平方向に沿う断面図である。

【符号の説明】

11, 12 ヘッドランプ

13 クリアランスランプ (他のランプ)

10 14 フィニッシャ

14f 挿入スリット (係止部)

16 ラジコアアッパー (車体)

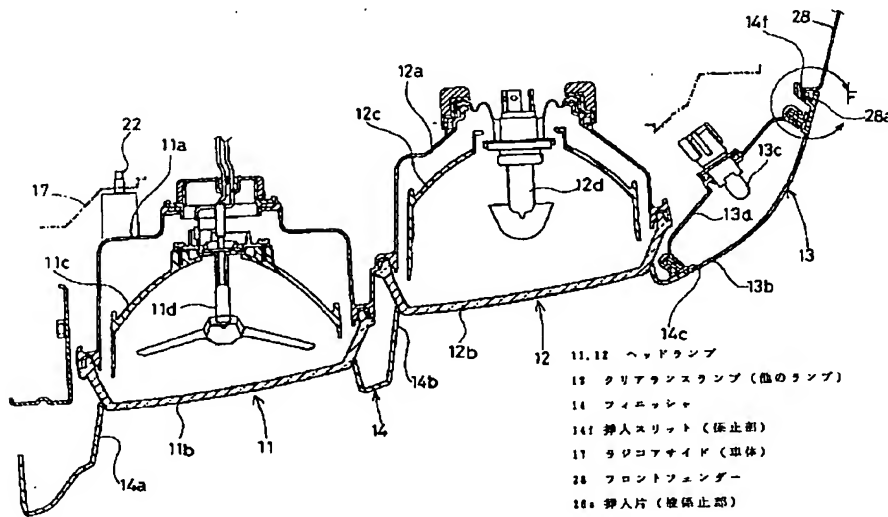
17 ラジコアサイド (車体)

28 フロントフェンダー

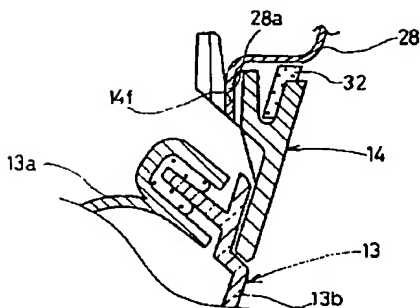
28a 挿入片 (被係止部)

30 弾性片

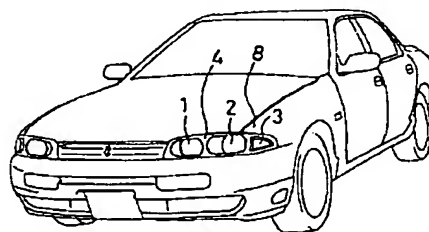
【図 1】



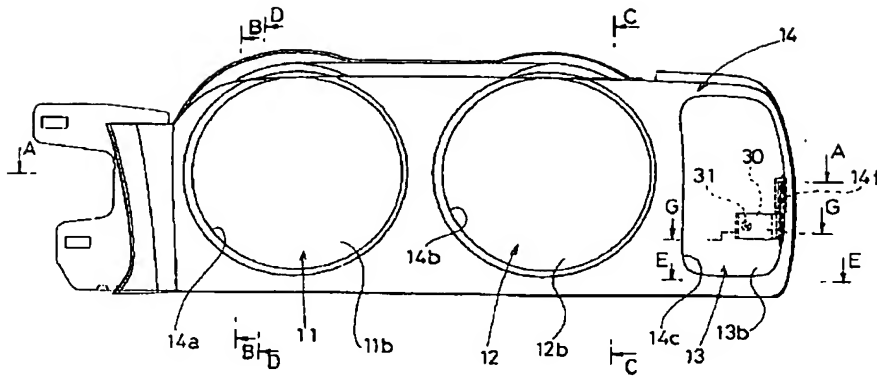
【図 7】



【図 9】

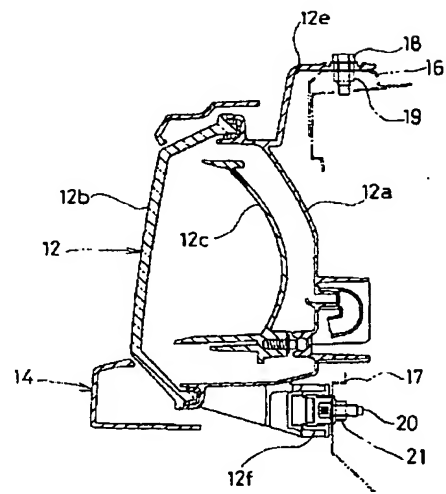
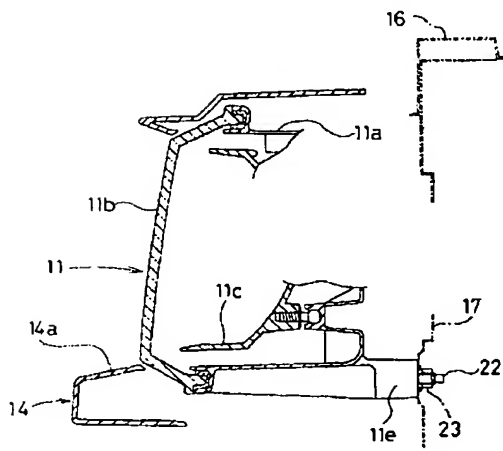


【図 2】



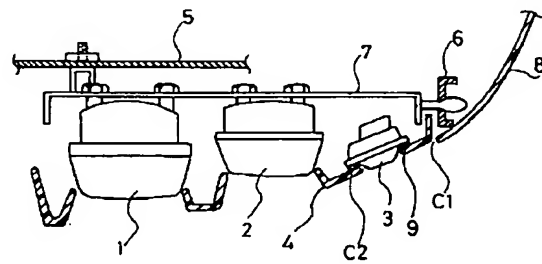
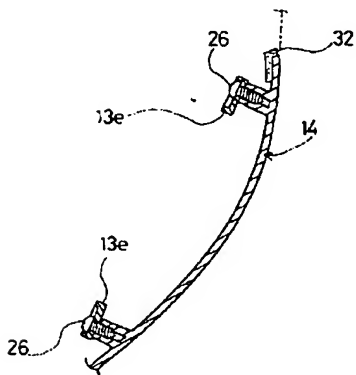
【図 3】

【図 4】

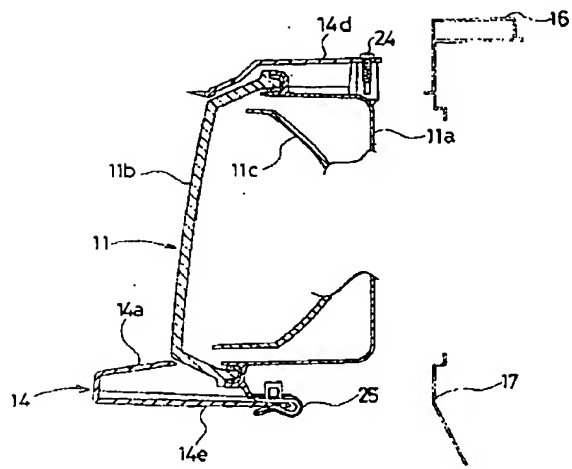


【図 6】

【図 10】



【図 5】



【図 8】

